

## 法人名 特定非営利活動法人子育て家庭支援センターあいくる

## 事業計画書

事業名	おやこ de 先生の未来教室及びおやこ de 登校日 事業
枠の種類	分野指定枠 (子どもの健全育成)
1. 事業の目的	<p>中高生・大学生等の青少年が、乳幼児や妊婦さんと触れ合うことで、命の尊さを感じ、親への感謝や自分の生き方について考えるきっかけとする。青少年と乳幼児の、言葉の通じない関わりの中から、コミュニケーション方法を工夫することで、その能力の向上も目的としている。</p> <p>また「おやこ de 登校日」では、様々な事情から通常学級ではなく相談室に登校している生徒が、月に1回乳幼児親子と出会うことで、学校関係者ではない子どもやその母との関りから、心を少しずつ開き心が元気になることを期待する。</p> <p>※「おやこ de 登校日」は、おやこ de 先生の未来教室で訪問した中学校の校長先生が、この事業を通した生徒の心の変化を感じ、相談室登校の生徒達への効果も期待できることから依頼を受けたものである。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>(1) 法人の設立目的・これまでの活動・成果</p> <p>① 設立目的：子育て中の閉塞感を減少し、子育て家庭が地域から孤立しないよう、安心して集える居場所を提供する。</p> <p>② 活動：入間市駅からほど近い場所に、子育て家庭支援センター「あいくる」、仏子駅近くに子育て支援センター「あん」という常設広場を設け、毎日開室している。多くの親子さんを迎え、地域との連携を図りながら広場を運営している。また、あいくるでは一時預かり事業も行っている。</p> <p>その他、オモチャなどを持って市内各地の神社やお寺などに出向く「出張広場はぴはぴ」を8か所で開催。曜日ごとに特色のある遊び場を展開している。また、月に1度子ども食堂『あいくる・みんなの広場』を実施し、親子のみならず小学生や中学生、高校生も共に夕飯を囲む活動も行っている。</p> <p>③ 成果：常設広場では年間約1万人の来場者、出張費広場でも年間約1万人の来場者を迎え、一時預かりでは年間約350名の預かりを実施している。</p> <p>(2) 課題</p> <p>① 毎日の広場で多くの親子さんを迎える中で、年々子育てに困難を抱える母親の姿が増えてきている。</p>

	<p>② 子どもを産む前に乳幼児と関わる経験が希薄である。</p> <p>③ 核家族化が進み、地域の繋がりが希薄になっている現在、中学生・高校生・大学生などの青少年が乳幼児や妊婦さんに触れ合う機会は減っている。</p> <p>④ 幼児虐待や青少年が引き起こす様々な事件の影響等もあり、子どもを産み育てることに、希望を持たない若者も増加中である。</p> <p>⑤ 他者の立場に立って物事を考えることが苦手な若者も多く、コミュニケーション力に乏しい姿も問題となっている。</p> <p>⑥ 不登校や相談室登校の生徒が、安心して関われる環境が学校内に少ないことは、その生徒達の心が回復するうえで問題である。</p> <p>(3) 重要性等</p> <p>当法人では開所以来、子育て中の人々、特に母親のケアに力を入れてきた。母親が楽しく子育てをしていれば、その子どもも幸せであろうとの考えからだ。しかし、母親になってからでは間に合わないことも多いと感じている。それより早い段階（青少年）に向けて、命の授業を行い、乳幼児との触れ合いを経験することで、母親・父親になった時の第1歩が違ってくると考えている。未来を担う子どもたちをより健全に育てるために、青少年期に乳幼児と触れ合う体験は不可欠なものである。</p>
<p>3. 具体的な事業内容</p>	<p>(1) おやこ de 先生の未来教室（中学校・高校）</p> <p>① 趣旨 乳幼児親子と中高生の触合い・助産師による命の授業</p> <p>② 時期 10月・11月・12月・1月・2月</p> <p>③ 対象者 市内中学生・高校生、乳幼児親子</p> <p>④ 場所 市内中学校6校、県立高校1校</p> <p>⑤ 参加見込み数 中学生660名 親子200組</p> <p>⑥ 協力者 乳幼児親子、妊婦さん、助産師さん</p> <p>⑦ 内容 クラス単位で乳幼児親子との触れ合いを行う。</p> <p>助産師さんによる「命の学習」では、妊婦さんの胎児の心音をドップラー聴診器で聞かせてもらい、命の誕生についてのお話をしてもらう。</p> <p>なお、訪問する学校は、事前に本事業の説明をし受け入れを許可された学校である。</p> <p>(2) おやこ de 先生の未来教室（大学）</p> <p>① 趣旨 乳幼児親子と大学生の触合い</p> <p>② 時期 8月・2月</p> <p>③ 対象者 駿河大大学心理学部相馬ゼミ学生、乳幼児親子 ※心理学部「子育ての心理学」「乳幼児の臨床」「心理教育持論」担当准教授のゼミ生対象</p> <p>④ 場所 駿河台大学</p> <p>⑤ 参加見込み数 大学生40名 親子20組</p>

	<p>⑥ 協力者 乳幼児親子、妊婦さん</p> <p>⑦ 内容 ゼミ生と乳幼児親子との触れ合いを行う。子どもの成長の様子が見たいとの要望があり、年間2回時期を変えて訪問する。</p> <p>(3) おやこ de 登校日</p> <p>① 趣旨 相談室へ乳幼児親子の訪問</p> <p>② 時期 毎月1回(6月~2月)</p> <p>③ 対象者 相談室登校の中学生、乳幼児親子</p> <p>④ 場所 学校(1校)の相談室</p> <p>⑤ 参加見込み数 中学生20名 親子22組</p> <p>⑥ 協力者 相談室担当教諭</p> <p>⑦ 内容 2組の親子とスタッフとで訪問し、1時間同じ部屋で過ごす。相談室登校の生徒は自分のペースで親子と関わり、可能なら一緒に給食を食べる。この事業は該当中学校の校長先生から依頼を受けたものであり、学校・生徒・保護者の承諾を得ている。</p>																				
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>(1) おやこ de 先生の未来教室(中学校)(高校)(大学)</p> <p>① 実施までの準備 開催中学校との打ち合わせ、ラインアットマークでの告知、ポスターチラシ作成、ポスター掲示・チラシ配布、参加親子申込受付、参加親子決定通知</p> <p>○事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="502 1003 1417 1485"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>駿河台大学打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>駿河台大学告知・広報</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>駿河台大学訪問 野田中学校打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>野田中学校告知・広報</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>野田中学校訪問(2日間) 藤沢中学校打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>藤沢中学校(2日間) 向陽高校打ち合わせ・告知・広報</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>県立向陽高校訪問 黒須・豊岡・西武中学校告知・広報</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>県立向陽高校訪問</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>黒須中学校訪問 駿河台大学訪問 豊岡中学校訪問 西武中学校訪問</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 広報計画について(おやこ de 先生の未来教室)</p> <p>年間を通じて、親子募集のポスター掲示。チラシ配布。 開催日が決定したら、ラインアットマーク(別紙詳細あり)にて告知。 開催日の1か月前にはポスターの掲示。 毎月発行のあいくる通信内で、活動の報告を兼ねた告知及び求人。 ※ポスター掲示場所:市内子育て支援センター、出張広場、公民館、市役所、健康福祉センター等の公共施設 チラシ配布場所:市内子育て支援センター、出張広場</p> <p>(2) おやこ de 登校日(中学校1校)</p> <p>① 実施までの準備 開催中学校との打ち合わせ、参加親子との打ち合わせ</p>	時期		6月	駿河台大学打ち合わせ	7月	駿河台大学告知・広報	8月	駿河台大学訪問 野田中学校打ち合わせ	9月	野田中学校告知・広報	10月	野田中学校訪問(2日間) 藤沢中学校打ち合わせ	11月	藤沢中学校(2日間) 向陽高校打ち合わせ・告知・広報	12月	県立向陽高校訪問 黒須・豊岡・西武中学校告知・広報	1月	県立向陽高校訪問	2月	黒須中学校訪問 駿河台大学訪問 豊岡中学校訪問 西武中学校訪問
時期																					
6月	駿河台大学打ち合わせ																				
7月	駿河台大学告知・広報																				
8月	駿河台大学訪問 野田中学校打ち合わせ																				
9月	野田中学校告知・広報																				
10月	野田中学校訪問(2日間) 藤沢中学校打ち合わせ																				
11月	藤沢中学校(2日間) 向陽高校打ち合わせ・告知・広報																				
12月	県立向陽高校訪問 黒須・豊岡・西武中学校告知・広報																				
1月	県立向陽高校訪問																				
2月	黒須中学校訪問 駿河台大学訪問 豊岡中学校訪問 西武中学校訪問																				

	<p>○事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="494 174 1236 577"> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>藤沢中学校相談室訪問</td> </tr> </table> <p>○広報計画について（おやこ de 登校日） ※おやこ de 登校日は、その活動の特性から広報活動を行わない</p>	時期		6月	藤沢中学校相談室訪問	7月	藤沢中学校相談室訪問	9月	藤沢中学校相談室訪問	10月	藤沢中学校相談室訪問	11月	藤沢中学校相談室訪問	12月	藤沢中学校相談室訪問	1月	藤沢中学校相談室訪問	2月	藤沢中学校相談室訪問
時期																			
6月	藤沢中学校相談室訪問																		
7月	藤沢中学校相談室訪問																		
9月	藤沢中学校相談室訪問																		
10月	藤沢中学校相談室訪問																		
11月	藤沢中学校相談室訪問																		
12月	藤沢中学校相談室訪問																		
1月	藤沢中学校相談室訪問																		
2月	藤沢中学校相談室訪問																		
<p>5. 個々の事業の実施により達成したい成果の具体的な内容</p>	<p>【おやこ de 先生の未来教室】 本事業を通して、青少年が命について考えるきっかけとする。 平成 31 年度は青少年 700 名、親子 220 組を目標とする。 これまで助産師の『命の授業』を高校のみで行ってきたが、中学校でも実施することで、青少年が命の大切さをより感じる事が出来るようにする。また助産師の話の中で性教育にも触れるため、多方面に渡る学びが期待できる。 【おやこ de 登校日】相談室登校の生徒が、親子の訪問を心待ちにし、他人に心を開くきっかけとなることを期待する。 昨年度の相談室訪問では、直接親子と関われない生徒が、翌月の訪問を心待ちにし、折り紙を折って次回の訪問を待っていたこともあった。その月も実際に関わることは出来なかったが、折り紙の数はどんどん増えていき、生徒が学校へ出向くきっかけになったことは明白である。このような数字では表せない成果を今年も大切にしたい。</p>																		
<p>6. 事業の実施体制</p>	<p>① 統括責任者 村野裕子                      ②連絡責任者 吉澤由加理 ③ 現場責任者 村野裕子                      ④経理担当者 吉澤由加理 ⑤ 広報責任者 鈴木真由美</p>																		
<p>7. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<p>入間市内には全 11 校の中学校がある。その全ての中学校で『おやこ de 先生の未来教室』を実施することを目標とし、来年度以降も 1 校ずつ説明を重ねていく。 また、相談室登校の生徒へ向けて行う『おやこ de 登校日』についても、需要に応じて他校での実施も検討する。 この事業の実施にあたりかかる経費について、担当課と協議していく。</p>																		
<p>8. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<p>この事業を開催するにあたり、参加親子の確保は欠かせないものである。日頃より広場を運営し、年間約 2 万人の利用者さんがいる当法人だからこそ、学校へ訪問する親子さんを集めることが出来る。 また、事業の内容・進行方法がたいへん優れており、青少年・参加親子・教職員の全ての満足度の高い活動となっている。 その実績から市内中学校からの信頼も得ており、安心して事業の依頼をしてもらえる。</p>																		